

**G空間社会って何！？僕らの未来をどう変える？
 地理空間情報科学を知り、触れ、学ぶ3日間**

G空間EXPO2013 日本科学未来館で開催！！

【2013年11月14日（木）～16日（土）】

G空間EXPO2013運営協議会（国土交通省、国土地理院（ほか産学官で構成）は、11月14日（木）～16日（土）の3日間、日本科学未来館（東京・お台場）にて「G空間EXPO2013」を開催する運びとなりました。これまでG空間EXPOは、地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現に向けて、産学官が連携し、地理空間情報と測位衛星の利活用を推進する場として、2010年（第1回）、2012年（第2回）と過去2回に渡りパシフィコ横浜で開催してきましたが、本年度よりお台場の日本科学未来館に会場を移すとともに、内容も今までの“展示会”から、ビジネス層は勿論、子どもから大人まで幅広い層の方がG空間に関する最先端の技術を見て、触れて、学べるイベントに生まれ変わります。

まず会場に入って目に飛び込んでくるのは、日本科学未来館のシンボル展示である「Geo-Cosmos（ジオ・コスモス）」。日本科学未来館のシンボルゾーンを「G空間EXPOメッセージゾーン」とし、G空間社会の“導入部”として来場者の皆様に『G空間社会って何？』を展示や体験を通してお伝えします。また、「地理空間情報フォーラム」では、G空間社会を支える最新の製品やサービスをご紹介します。「Geoアクティビティフェスタ」はG空間情報に関する独創的なアイデアやユニークな製品、画期的な技術を展示する他、選考を経て選ばれたプレゼンターがそれぞれプレゼンテーションを実施します。G空間EXPO2013からの新しい取り組みとして開催されます「Geoエデュケーションプログラム」は、教員向けの研修会、自治体職員・NPO関係者向けセミナーを実施する他、16日（土）は子供から大人までが楽しめるG空間情報に関連する体験イベントを実施致します。（※詳細は次頁参照）

本年度で3回目となり今まで以上に充実し、子供から大人までが**見て、触れて、学べる3日間**となったG空間EXPO2013にご期待ください。

つきましては、下記概要にて開催致しますので、是非ご掲載のご検討宜しくお願い致します。

※ロゴデータ、チラシデータ等に関しては御支給可能になりますので、お気軽に事務局までお問合せ下さい。

開催概要

< イベント名称 > G空間EXPO2013

- テーマ：地理空間情報科学で未来をつくる
- コピー：未来の現在地、ココにあります

< 開催会場 > 日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6

TEL：03-3570-9151

< 開催日程 > 2013年11月14日（木）・15日（金）・16日（土）

< 入場料 > 無料

< 主催 > G空間EXPO2013運営協議会

●構成員

公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙戦略室、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、独立行政法人宇宙航空研究開発機構

< 共催 > 日本科学未来館、臨海副都心まちづくり協議会

< 後援 > 東京都港湾局

< 公式Webサイト > <http://www.g-expo.jp>



※2013年10月現在

本件に関するお問い合わせ先

G空間EXPO2013運営協議会事務局（株式会社シー・エヌ・エス）

〒153-0051 東京都目黒区上目黒2-9-35 中目黒GS第2ビル1F

TEL：03-5768-3525 FAX：03-3794-0425

担当：中島（090-3479-6005）mail：nakajima@cnsinc.jp

■ G空間EXPO2013 開催にあたって

地理空間情報高度活用社会（G空間社会）の実現へ向け、 産学官が連携し地理空間情報と衛星測位の利活用を推進する場

近年、クラウドの普及やSNSの浸透、マッシュアップによるサービスの拡がりなど、情報通信における技術革新にはめざましいものがあり、またスマートフォンの急速な普及やWi-Fiなど無線通信環境の充実により、日常生活や経済活動にかかせない位置と時間の情報（G空間情報）をいつでもどこでも取得できる環境が整いつつあります。

さらに、平成22年9月にはより高度な測位を可能にする準天頂衛星 初号機「みちびき」が打ち上げられ、2010年代後半を目途に4機体制へ整備、将来的には7機体制に拡充することを目指すなど、衛星測位分野においても今後も大きな進展が見込まれています。

こうした状況の中、「G空間EXPO」は、地理空間情報活用推進基本計画（平成24年3月27日閣議決定）に基づき、G空間社会の裾野を広げることを目的に産学官の連携により、平成22年9月に「G空間EXPO（2010）」、昨年6月に「G空間EXPO2012」と、これまで2回開催され、G空間社会の実現へ向け広く一般の方々の理解を促すとともに、G空間関連産業の発展に努めて参りました。

これらの成果を踏まえ、「G空間EXPO2013」においては、G空間情報の最先端の技術やサービスを集結し、展示、講演・シンポジウム、研修・体験イベント等を通じ、広く一般の方々に未来をつくる日本の技術やサービスを紹介する場とするとともに、新たな技術やサービスの創出や既存のそれらの高度化・発展に関する民間事業者等の提案や創意工夫を掘り起こす場とし、取り組んで参ります。

開催構成

● G空間EXPOメッセージゾーン

【G空間社会のしくみを学ぼう！】

G空間社会を支える「宇宙・測位・測量」の技術や、「私たちの“位置や移動”などの情報が世の中にどのような影響をあたえるのか？」などについて展示や体験アクティビティを通じて、その“しくみ”を体感することができるゾーンです。また、G空間社会の第一線で活躍する研究者や技術者など多彩なゲストによるさまざまなステージプログラムもお楽しみ頂けます。

● 地理空間情報フォーラム

【日本が誇る最先端技術に触れよう！】

遠い外国のことから、部屋の中にある物の場所まで、あらゆるものを測る事が出来る日本の測量技術や、宇宙・測位における最先端技術、またそれらを使ったサービスや新たな試みなどについてご覧頂き、体験することができます。

● Geoアクティビティフェスタ

【未来のアイデアを発掘しよう！】

G空間情報を使った、ユニークなアイデアや製品、技術、サービスなどについて展示や発表を行う場です。プレゼンターは、公募により選ばれた、研究者や企業・NPOなど。参加者や来場者などが出会い、新たなアイデアが生まれる場を提供します。

● Geoエデュケーションプログラム

【体験して学ぼう！】

GPSを使って会場周辺を探索する宝探しなど、タブレットやスマートフォンを活用した、G空間社会を楽しく体験できるプログラムが充実。また、教育関係者や自治体職員向けの研修会やワークショップ、児童生徒が作成した地図作品の展示なども開催します。

● 講演・シンポジウム

G空間社会をリードする研究者や技術者、サービス提供者などによる、講演・シンポジウムがずらり登場。G空間社会の未来をつくる研究成果の発表や、世界最先端の技術動向を最先端を走る研究者たちから直接聞き、対話するチャンスです。

G空間は国土やインフラの地理情報、自動車のプローブ情報といったビッグデータと、人工衛星やGPSから得られる測位情報などを組み合わせ、防災対策の高度化や新産業、サービスを生み出す次世代ツールとして注目を浴びており、2020年に日本企業の国内外のG空間関連市場を現在の約20兆円から最大で3倍の62兆円に拡大するとの試算も御座います。

G空間（情報）とは、ナノテクノロジー、バイオテクノロジーと並び将来が期待される三大重要科学技術分野の一つとされている「地理空間情報技術」（=Geotechnology）の頭文字のGを用いた「地理空間（情報）」の愛称です。